

土岐善麿短歌賞 1 首単独の部

【最優秀】

退職後のスモーキングじいちゃんは俺たちよりも生き生きしてる 関 真誠

【優秀】

十七歳、終わりのZと呼ばれても世界を変える予定を立てる 山田 あすか

【佳作】

オレンジが溶け出たような影になりコートに呼吸している身体 荻原 咲

星よりも、チャリのライトがあかるいしわたしがわたしを産んだんだった 栗橋 唯

学校の白いカーテンに包まれて花嫁みたいと笑った放課後 神山 蓮

早朝の富士山登る父の背に注ぐ来光町に零れる 竹鼻 久音

しばらくは炭酸だけを飲んでいよう全てが水の泡になるように 根本 権

サラダバーすべてがいれかわるとしてきみはいつまできみなんだろう 安田 湖夏

なみだのみ冬のえくぼにみずたまる春に芽吹くはあなたとの夢 山本 蒼太郎